株式会社と経緯理念

経営者は船長

**株式会社**とは株主に金を出してもらって事業を運営する会社

日本の会社形態は４種類ある、合同会社、合資会社、合名会社、株式会社の４つ

経営理念とは企業の存在意義

ビジョンは会社が目指す将来の姿

経営戦略はビジョンを実現するための具体的な行動計画

**株主総会**

株主が集まる会議、株主とは「会社にお金を出費している人」

株主は自ら経営を行う代わりに経営のプロである経営者に会社の運営を任せる

しかし、経営者が自由に運営できる訳ではない

経営者は株主の意向に沿って会社を運営することが必要

※ITパスポートでは株主総会の事を「株式会社の最高意思決定機関」と説明する場合がある

会社には社会的な責任がある

企業活動の目的の１つに「利益の追及」があるが、利益の追求を求めるあまり、公害や偽装など社会に影響を及ぼす事になってしまう事が起きる可能性がある

そのために社会貢献や環境保護など「社会的責任」を考え、実行していく事が求められる

このような事をＣＳＲ（Corporate Social Responsibility）というものがある

CSRの関連擁護

グリーンIT　地球環境に優しいITのこと、ITを使って省エネを推進し、環境を保護していくという考え方

ダイバーシティ　人種、性別、年齢、国籍などの「多様性」を受け入れて、さまざまな人材を活用することで生産性を高めようとする考え方

ソーシャルビジネス　子育てや介護、環境問題といった社会的課題をビジネスの手法を活用して解決していく企業活動のこと

SDGs 持続可能な世界を実現するための17の国際目標

経営資源

**経営資源**とは企業がライバル会社と激しい競争に勝ち抜くために使う資源のこと

一般的にヒト、モノ、カネ、情報（チエ）を４大経営資源という

**ＨＲＭ（人的資源管理）**

Human Resource Management（人的資源管理）

ヒトを経営資源の１つと考え、人的資源を有効活用すること

ヒトとその他（３つの経営資源）と違う所は訓練や教育で価値を高めることができる所にある

**OJTとOff-JT**

OJT　実際の業務を通じた教育訓練のこと、要は実現場で行うトレーニング

Off-JT　仕事を離れて行われる訓練のこと、要はセミナーへ参加するなど、実現場の他でスキル向上を図る事

**HRテック**とはHRMのうち、AIやIoTといったITを活用する手法

経営組織

**５つの組織形態**

４つある経営資源のうちの１つであるヒトの集まりを「経営組織」という

企業の大きさや業種ごとにさまざまな形態の経営組織がある

**職能別組織**

業務を専門的な機能に分けて、各機能を単位として構成する組織

物を作る＝開発　売上を計算する＝経理・総務　などという分類の仕方

こういったすべての機能を社員一人が処理するのは非効率なので分類しようという考え方

それぞれ特化したスキルを持つ人間を関連する場所に分離していくという事

また、機能別組織という呼ばれ方もする

**事業部制組織**

事業部を単位として構成する組織

中小企業の場合は１企業を１事業である事が多いが、大企業となってくると複数の事業を持つ場合がある

職能別組織の１つ上に「事業部という階層」を設けている

**それぞれの単語の定義**

事業　複数の業務のこと

業務　手作業とシステムのこと

システム　ハードウェアとソフトウェアのこと

・事業を「製品別」「顧客別」「地域別」

・利益責任がある

職能別組織では事業が１つしかないから経営者が意思決定を行う

事業部制組織では事業が複数あるため、すべての意思決定を経営者１人が行う事はできない

そのため、意思決定権を事業部に渡す

意思決定権を渡した上で赤字を出され続けるとムカつくので利益責任を負わせる

要はてめえのケツはてめえでふけってこと。

**マトリックス組織**

社員が職能部門と事業部門の両方に所属する組織

職能別組織と事業部制組織を組み合わせたような組織形態

事業部組織との明確な違いは所属部署数

マトリックス組織では「国内事業部」と「営業部」の２つの所属するが

事業部制組織では「国内事業の営業部」という１つの部署に所属する

**プロジェクト組織**

ある問題を解決するｍたえに各部門から専門家を集めて結成する一時的な組織

各チームからプロジェクトに適した人材を選別してプロジェクトチームを結成する

**持株会社**

子会社の株式を保有する親会社のこと

組織を持株会社にすると企業の買収や合併がしやすくなるというメリットがある

過去問解説

**E-R図**  
顧客や製品といった業務の管理対象間の関係を図示し、その業務上の意味明らかにする

E-R図のEはエンティティ（実態）間のR＝リレーションシップ（関係）を表す図

「モデリング」「関係」がキーワード。

**業務フロー**

ワークフローを明らかにするもの

**DFD**

データの流れを把握するもの

**国債基準化機関（ITU）**

**ICANN**はIPアドレスの管理などを行う非営利法人

**IEC**は電気・電子技術分野の国際標準化機関

**IEEE**は電気・情報工学分野の学会、技術標準化機関

**ニューラルネットワーク**

人間の脳神経の仕組みをモデルとしたコンピュータープログラム

**ソーシャルネットワーク**

個人と個人、個人と集団など、社会的なつながりのこと

**デジタルトランスフォーメーション**

IT技術を使って人々の生活をよりよく変化させていく考え方

**ブレーンストーミング**

複数人で意見を出すときに使う会議手法

**エンタープライズサーチ**

企業内の様々なシステムに蓄積されている提携又は非定形型なデータを一元的に検索するための仕組み

「企業内」「一元的に検索」がキーワード

**コーパス**

自然言語処理を実現するための基礎データとなる、電子化された大量の例文データベース

**イメージスキャナ**

写真や書類などを光学的に読み取り、デジタルデータ化するための画像入力装置

**エンタープライズアーキテクチャ**

情報システムや業務プロセスの現状を把握し、あるべき企業の姿とのギャップを埋めるための目標を設定し、全体最適化を図ること

**集中処理システム**

システム全体を管理する大型汎用機などのコンピュータにデータを一極集中させて処理すること

**EUC**

情報システム部門以外の人が自らコンピュータを操作し、自分や自部門の業務を役立てること

**クラウドコンピューティング**

ソフトウェアやハードウェアなどの各種リソースを、インターネットなどのネットワークを経由して、オンデマンドでスケーラブルに利用すること

**グリッドコンピューティング**

ネットワークを介して、複数台のコンピュータに処理を分散させ、処理結果を共有すること

**コネクテッドカー**

「インターネットに接続できる機能」「車載センサ」「運転の支援」

著作権法の保護対象となり得るもの

インターネットに公開されたフリーソフトウェア

データベースの操作マニュアル

**イノベーション論**

１イノベータ

２アーリーアダプダ

３アーリーマジョリティ

４レイトマジョリティ

５ラガード

・キャンペーンの応募者の個人情報を、応募者に無断で他の目的のために利用する行為

個人情報保護法

・他人のIDとパスワードを不正に入手し、それらを使用してインターネット経由でコンピュータにアクセスする行為

不正アクセス禁止法

**技術ロードマップ**

「技術」「時間軸」

**RPA（Robotic Process Automation）**

受注データの入力や更新など、PCで実施する定型的な作業に適している

「受注データ」「PCで実施」「定型的な作業」

労働者派遣に関する、適切な解説

・派遣労働者であった者を、派遣元との雇用期間が終了後、派遣先が雇用してものよい

・派遣契約の種類によらず、派遣労働者の選任は**派遣元**が行う

・派遣労働者の給与は**派遣元**が支払う

・**FinTechの事例**

証券会社において、顧客がPCの画面上で株式売買を行うときに、顧客に合った投資信託を提案したり自動で資産運用を行ったりする、ロボアドバイザーのサービスを提供する

・**デュプレックスシステム**

銀行において、災害や大規模障害が発生した場合に勘定系システムが停止することがないように、障害発生時には即時にバックアップシステムに切り替える

・**ロックアウト**

クレジットカード会社において、消費者がクレジットカードの暗号番号を規定回数連続で間違えて入力した場合にクレジットカードを利用できなくなるようにする

・**ノンフリート等級**

損害保険会社において、事故の内容や回数に基づいた等級を規定しておき、インターネット自動車保険の契約者ごとに、一年間の事故履歴に応じて等級を上下させるとともに、保険料を変更する

・**要件定義プロセス**

ソフトウェアライフサイクルを、企画プロセス、要件定義プロセス、開発プロセス、運用プロセスに分けるとき、システム化計画を踏まえて、利用者及び他の利害関係者が必要とするシステムの機能を明確にし、合意を形成するプロセス

「システムの機能」「合意形成」がキーワード

・**企画プロセス**

「システム化を企画する」

・**開発プロセス**

「システムを要件定義に基づき開発するプロセス」

・**運用プロセス**

「システムを本番環境で稼働させるプロセス」

A社の情報システム部門は、B社のソフトウェアパッケージを活用して、営業部門が利用する営業支援システムを構築することにした

構築に合わせてEUCを推進するとき、業務データの抽出や加工、統計資料の作成などの運用を行う組織そして、適切なもの

**A社の営業部門**

「EUC（End User Computing）」がキーワード

**マーチャンダイジング**

店舗などにおいて、商品やサービスを購入者のニーズに合致するような形態で提供するために行う一連の活動のこと

「店舗」「ニーズ」「一連の活動」

**セグメンテーション**

消費者のニーズや欲求、購買動機などの基準によって全体市場をいくつかの小さな市場に区分し、標的とする市場を絞りこむこと

**ロジスティクス**

製品の出庫から販売に至るまでの物の流れを統合的に捉え、物流チャンネル全体を効果的に管理すること

**ドミナント**

配送コストの削減と、消費者への接触頻度増加によるエリア密着性向上を狙って、同一エリア内に密度の高い店舗展開を行う事

**プロパイダの対応責任の対象**

氏名などの個人情報が電磁掲示板に記載されて、個人の権利が侵害された

**新規顧客の開拓**

見込み客訪問件数

**結果指標**

新規契約獲得率

**総額客増加率**

総顧客増加率が新規顧客を開拓した結果

**ビッグデータの分析**

・大量のデータから未知の状況を予測するためには、統計学的な分析手法に加え、機械学習を用いた分析も有効である

「大量のデータ」「統計学」「機械学習」がキーワード

**HRTech**

人事とIT技術を組み合わせた造語  
「人事関連業務」「IT」がキーワード

**eラーニング**

パソコンやインターネットなどのITを使った教育訓練

**コンピテンシ**

ビジネスで高い業績を上げる人材も行動特性

**BYOD**

私物のデバイスを使って会社のサーバにアクセスし業務を行う事例

「私物」がキーワード

**経営利益**

営業利益+営業外利益-営業外費用

**営業利益**

売上高-売上原価-販売管理費及び一般管理費

**経営利益**

売上高-売上原価-販売管理費及び一般管理費-営業外費用

**粗利益**

売上高ー売上原価

**税引前当期純利益**

経営利益+特別利益-特別損失

**当期純利益**

税引前当期純利益ー法人税、住民税及び事業税

**不正アクセス禁止法**

他人の利用者IDとパスワードをネットワークを介して無断で使い、制限された情報にアクセスすること

ネットワークとID、パスワードを介する事がキーワード

**APIエコノミー**

インターネット上の様々なサービスを連携させて付加価値を高める仕組みは、APIエコノミーという

「サービス」「連携」がキーワード

**サイバーセキュリティ基本法**

国や地方公共団体が果たすべき責務

国民が努力すること

施策の推進についての基本理念

コンピュータシステム開発の外部への発注において、発注金額の確定後に請負契約を締結した、契約後、支払いまでに発注側と受注側の間で交わされる書類の組み合わせ

納品書、検収書、請求書

請負契約において、契約から支払いまで交わす書類は

納品書、検収書、請求書

**SCM**

企業間のネットワーク連携で製品のタイムリーな生産、供給を実現する

「ネットワーク」「タイムリー」がキーワード

**かんばん方式**

後工程から前工程への生産指示や前工程から納品情報の伝達を行う生産方式、現在では物理的な看板の代わりに電子式タグなどが使われる

「ジャストインタイム生産方式」がキーワード

**クラフト生産方式**

職人が全部または一部の工程を手作業で行う

**セル生産方式**

１人または少人数のチームで製造の全行程を行う

**見込み生産方式**

需要予測に基づきあらかじめ製品を生産をする